

武川小学校学区内子ども「110番のお店」マップチラシを配布



「子ども 110番のお店」

AMS山梨青年部の活動について

正副部長会議

- ◇日 時 7月16日(火) 18:30～20:30
◇場 所 (一社)山梨県自動車整備振興会 会議室
◇出席者 杉野部長、今井副部長、興石副部長、広瀬副部長、花田副部長、小松監事・代表
◇審議事項 (1) 各委員会(広報・技術・交流・経営)活動予定等について
(2) その他

＝お知らせ＝

令和6年度 CO・HC測定器定期校正の実施計画について

認証工場を対象とする標記定期校正を、通達に基づき下記により実施します。
また、該当支部の事業場(認証工場)には追ってご案内しますが、あらかじめご承知置き下さい。

令和6年度 CO・HC定期校正計画表

支 部	実 施 日	実 施 場 所	時 間
塩 山	8月21日(水)	塩山車検センター協同組合	9:30～16:00
南アルプス南	9月11日(水)	常盤自動車整備工場	9:30～16:00
南アルプス北	10月2日(水)	(有)堀田自動車工場	9:30～16:00
甲府北	令和7年2月18日(火)	振興会 実習場	9:00～16:00
甲府南	3月11日(火)	振興会 実習場	9:00～16:00
日下部	3月13日(木)	振興会 実習場	9:00～16:00
市 川	3月18日(火)	振興会 実習場	9:00～16:00

OBD 検査システムの整備事業者向け説明会が開催されました

10月からのOBD検査本格運用に向けて、4月21日からOBD検査システムが稼働し、並行して整備事業者様からの利用者登録に係る申請受付が行なわれております。

OBD検査システムの稼働に合わせ、(一社)山梨県自動車整備振興会が主催するOBD検査の概要・関係通達、利用者管理システム・特定DTC照会アプリ操作方法、OBD検査プレ(検査用スキャンツール使用方法)などに関する実務的な内容の説明会が、下記により開催されました。

10月から開始されるOBD検査本格運用に向けて、適切な準備を進めるため、今後とも各種研修会・勉強会にご参加下さい。

○日 時 7月19日(金) 【午前の部】 9:30～12:30

【午後の部】 13:30～16:30

○内 容 【OBD検査に関する説明会】 【講義形式+実演形式】

- ・OBD検査の概要と関係通達内容
- ・利用者管理システム操作方法
- ・特定DTC照会アプリ操作方法
- ・OBD検査結果参照システム操作方法
- ・OBD検査プレ(検査用スキャンツール使用方法)

○講 師 関東運輸局 自動車技術安全部 整備課 及川 健太郎 専門官

整備課 佐藤 憲司 事業係長

関東運輸局 山梨運輸支局 永岡 義章 陸運技術専門官

財津 佑吾 整備部門 事業担当官

独立行政法人自動車技術総合機構 関東検査部 検査課 玉田 菜葵 専門官

○会 場 (一社)山梨県自動車整備振興会 新館2階 大講堂・新館1階 実習場



説明会の模様



説明会の模様



説明会の模様



説明会の模様

ＯＢＤ検査システムの整備事業者向け説明会のご案内について

１０月からのＯＢＤ検査本格運用に向けて、４月２１日からＯＢＤ検査システムが稼働し、並行して整備事業者様からの利用者登録に係る申請受付が行なわれております。

ＯＢＤ検査システムの稼働に合わせ、(一社)山梨県自動車整備振興会が主催するＯＢＤ検査の概要・関係通達、利用者管理システム・特定ＤＴＣ照会アプリ操作方法、ＯＢＤ検査プレ(検査用スキャンツール使用方法)などに関する説明会を、下記により開催します。

１０月から開始される本格運用に向けて、より実務的な内容の説明会となりますので、適切な準備を進めていただくために、ぜひ、ご参加のほどよろしくお願いします。

説明会対象者は、

各事業場の工場長又は店長等 １名 が対象

◇ 内 容 【ＯＢＤ検査に関する説明会】 **【講義形式＋実演形式】**

- ・ ＯＢＤ検査の概要と 関係通達内容
- ・ 利用者管理システム操作方法
- ・ 特定ＤＴＣ照会アプリ操作方法
- ・ ＯＢＤ検査結果参照システム操作方法
- ・ ＯＢＤ検査プレ (検査用スキャンツール使用方法)

◇ 時間割 【午前の部】 受付 ９：００～ ９：３０ 研修 ９：３０～１２：３０
【午後の部】 受付 １３：００～１３：３０ 研修 １３：３０～１６：３０

◇ 講 師 関東運輸局 自動車技術安全部 整備課 担当専門官
関東運輸局 山梨運輸支局 整備課 担当専門官
独立行政法人自動車技術総合機構 関東検査部 検査課
ＯＢＤ検査業務専門官

◇ 研修会場 (一社)山梨県自動車整備振興会 新館２階 大講堂・新館１階 実習場

◇ 研修費用 無 料

※ 説明資料につきましては、当日受付にてお渡しします。

なお、受付にて研修受講票をご記入してご提出下さい。

OBD検査システムの整備事業者向け説明会 日程表

月 日	受付・研修時間	該当事業場認証番号
8月9日(金)	午前の部	(第8-498号～第8-746号)
	午後の部	(第8-747号～第8-995号)
9月13日(金)	午前の部	(第8-996号～第8-1244号)
	午後の部	(第8-1245号～第8-1502号)

* 新型コロナウイルス感染拡大防止対策の観点から受講人数を制限しておりますのでご協力をお願いします。

OBD検査システムの「事業場ID申請」を受付けております

10月より、検査用スキャンツールを用いたOBD検査の本格運用が開始されます。この本格運用に向けたプレ運用（習熟期間）が昨年10月から開始されました。

認証及び指定工場においてOBD検査及びプレ運用を行うには、事前にOBD検査システムに「事業場ID申請」が必要となり、4月より「OBD検査ポータルサイト」において受付が開始されました。OBD検査システム及び登録に必要な情報は、下記のOBD検査ポータルサイトからご確認をお願いします。

（各種マニュアル類も下記のOBD検査ポータルサイトから入手できます。）

<https://www.obd.naltec.go.jp/>

～【OBD検査について】～ ！！注意！！

- 指定工場は、対象車の完成検査時に「OBD検査」が必要になります。
（検査用スキャンツールを使用します。）

指定工場(対象自動車が大型特殊自動車、小型二輪自動車のみ)の事業場は除く)の利用登録は必須です。まだ、事業場ID申請がお済みでない指定工場は、お早めに申請して下さい。

指定工場でのプレ運用は、国土交通省通達のとおり「OBD検査モード」だけでは適否の判定まで進めないため、『初回アプリ使用済』にはなりません、「OBD確認モード」で「実行」を行うと『初回アプリ使用済』となります。さらに、OBD検査システムID申請済みの指定工場の皆さまは、処理状況が『初回アプリ使用済』となるように準備して頂きますよう、よろしくお願いします。

- 認証工場についても、自工場で検査用スキャンツールを使用して「OBD検査と同等の確認（OBD確認）」を実施した場合、原則として車検場においてOBD検査が省略されます。

- OBD検査（確認）及びプレ運用を行うには、事前にOBD検査システムへの利用申請が必要になります。なお、自工場でOBD検査（確認）を実施せずに対象車を車検場に持ち込む場合には、OBD検査を車検場で実施するため利用申請は不要となります。

<振興会が実施する一括申請について(会員様向け)>

OBD検査システムの利用を希望する会員事業場の情報を振興会でとりまとめて、自動車技術総合機構（運用管理センター）に「事業場ID申請」を一括申請します。

振興会を経由した一括申請を希望される場合は、振興会ホームページ→会員ページ→会員専用ページ→振興会からののお知らせ→🚗OBD検査システムのID一括申請について→PDF資料を参照していただき必要書類(Excelデータ)を添付の上、下記アドレス宛にメール送信にてお申し込み下さい。

なお、送信元であるメールの件名は「OBD検査システムのID一括申請」と入力して送信して下さい。

自動車技術総合機構より、先般実施されたOBD検査関係通達に係るパブリックコメントの結果等も踏まえ、各自動車整備振興会におけるOBD検査システムID一括申請の受付については、令和6年9月30日をもって終了する旨の情報提供がありましたので、お知らせします。

10月1日以降のOBD検査システムへの登録につきましては、各事業場において個別で申請となります。

メールアドレス sidou@ams-net.jp

振興会ホームページ



①振興会ホームページ会員ページへ
(ユーザー名 **ams** パスワード **amskaiin**)

②振興会からののお知らせ
ボタンをクリック

③🚗OBD検査システムのID一括申請について ④必要書類(Excelデータ)を添付の上、
→PDF資料参照 メール送信

なお、振興会が実施する一括申請は登録のみとなります。その後は自動車技術総合機構（運用管理センター）より申請完了及びクライアント証明書の招待コードのメールが届きますので、ご確認頂き、各事業場で作業（アプリのインストール等）を進めて下さい。

また、振興会での一括申請は複数の事業場から申請があることから、登録には一定の時間を要します。早急に事業場IDが必要な方は[OBD検査ポータル \(naltec.go.jp\)](http://naltec.go.jp)【独立行政法人 自動車技術総合機構】より個別に事業場登録をお願いします。

<検査用スキャンツールの認定機器一覧の公開について>

10月よりOBD検査制度が導入されることに伴い、一般社団法人日本自動車機械工具協会のホームページにおいて、認定された検査用スキャンツール型式一覧表が掲載されています。今後も随時更新されますので、必要に応じてご確認くださいませようお願いします。

[一般社団法人日本自動車機械工具協会ホームページ](https://www.jasea.org/) <https://www.jasea.org/>

＊ 関東運輸局ではOBD検査のプレ運用開始に伴い、自動車整備業の皆様に広く意見を徴集すべく、パブリック・コメント(意見・要望の公募)を実施しております。

つきましては、各支部より寄せられたご意見(6月分)と、関東運輸局のご回答を、下記のとおりご報告します。

OBD検査におけるご意見・ご要望等がありましたら、山梨県自動車整備振興会ホームページより、回答フォーマットをダウンロードして下記によりご提出下さい。

提出先 振興会メール (sidou@ams-net.jp) またはFAX (055-263-4420)

回答フォーマット リンク先よりダウンロードしてください。

事業者からの意見等

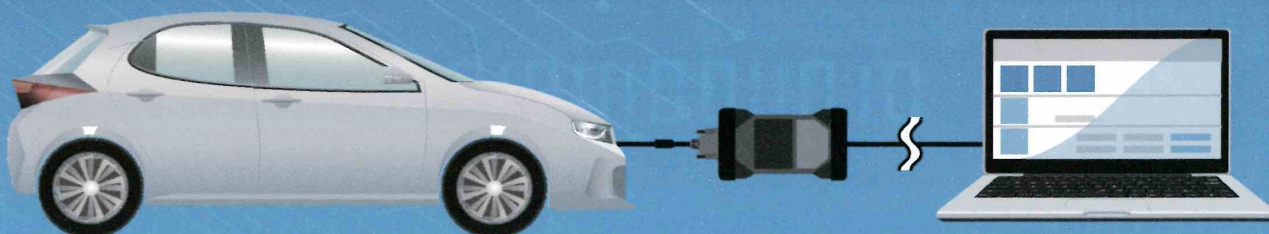
(6月分)

	意見など	回答(関東運輸局)
1	第4回OBD検査準備会合の資料7-1新設・改正予定の通達について(意見照会後)の通達案の修正内容① 3. (2)概要①検査用スキャンツール借用使用に係る「使用管理台帳」を追加 とあるが、これは認証工場が他社のスキャンツールを借用する場合に記録するための台帳という解釈でよろしいか？ 指定工場において検査用スキャンツールを共用使用する場合には、別途通達で「共用設備の使用管理台帳」の様式が定められており、今回示された様式と異なっている。今までの説明で検査用スキャンツールは、ブレーキ・テストやヘッドライト・テストと同じ扱いになると聞いているので、指定工場が検査用スキャンツールを借用する場合(共用使用する場合)の台帳は、今回示された様式ではなく、既に使用している他の検査機器を借用する場合の台帳を使用することよろしいか？	「自動車特定整備事業者等におけるOBD検査及びOBD確認の取扱方針について(令和6年3月28日付国自整第278号)」の別紙「借用設備の使用管理台帳」は当該通達の4. (5)検査用スキャンツールの借用使用に該当する場合に記載します。 4. (4)指定整備業務における検査用スキャンツールの共同使用についてに該当する場合は「自動車検査設備の共同使用における指定整備業務の取扱について(平成9年2月20日付自整第23号)」に基づき実施してください。 当該通達では、4. (4)の指定工場の「共同」と、4. (5)の特定自動車特定整備事業者の「借用」で内容が分かれていますのでご注意ください。
2	Windowsアカウントの共有は推奨していないが、同じアカウントでクライアント証明書をPC、検査用スキャンツールにインストールしても良いか	あくまでも推奨ですので、ID、パスワードの管理を適正に行っていただければ特段妨げるものではありませんが、同一人物のみが使用するWindowsアカウントであることが望ましいと考えます。
3	指定工場において、検査用スキャンツールの届出はシステム登録後の届出か、支局へ届出してから登録か又、支局とポータルサイトシステムは事業場が届出している検査用スキャンツールは共有できているのか	検査用スキャンツールのシステム登録は検査用スキャンツールで使用するPC等へのスキャンツールドライバのインストールのことかと思いますが、その場合どちらが先でも問題ありません。 支局とOBD検査用サーバで届出している検査用スキャンツールの共有は行っておりませんが、OBD検査(確認)時にどの検査用スキャンツールを使用したかは、OBD検査用サーバに記録が残るようになっています。
4	現在、「特定DTC照会アプリ」において利用者登録が「工員もしくは検査員」のみとなっていますが、例えば「受付事務スタッフが見積の段階でOBD検査が真に必要な否かアプリで判断する」「納品書等帳票類の作成時、工員・検査員以外の者がOBD検査結果の『帳票PDF出力』を行う」などを出来るようにしていただきたいです。	いただきました要望は本省へ伝えさせていただきます。
5	事業場以外の場所で、例えば引取り先のお客様のご自宅などで自社の工員が「特定DTC照会アプリ」の「OBD確認モード」を使えるようになるとお客様に説明がしやすく納得が得られやすい	いただきました要望は本省へ伝えさせていただきます。

車検時の新たな検査項目として 「OBD 検査」が追加されました。



OBD 検査
ポータルサイト



『OBD 検査』とは、自動運転技術などに用いられる電子制御装置が適切に機能しているかを確認する検査です。国の定める自動車検査（車検）の検査項目として、令和 6 年 10 月以降（輸入車は令和 7 年 10 月以降）に新たに追加されました。



**OBD 検査の対象となる車は車検証の備考欄に、
「OBD 検査対象」と記載があります。**



令和 3 年 10 月（輸入車は令和 4 年 10 月）以降の
ニューモデルからが対象、それ以外は対象外

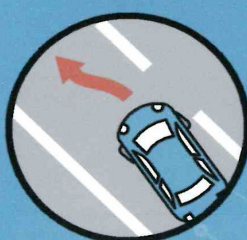
記載があっても以下の場合は検査不要です

- 車検の日が令和 6 年 9 月 30 日以前
（輸入車は令和 7 年 9 月 30 日以前）
- 車検の日が型式指定年月日から 2 年を経過していない
- 車検の日が初度登録年月または初度検査年月の前月の末日
から起算して 10 ヶ月を経過していない。

どんな装置を検査するの？



制動装置
(ABS、ESC、EVSC、
BAS、AEBS)



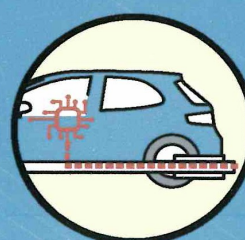
かじ取装置
(高度運転者支援ステ
アリングシステム)



自動運行装置



車両接近通報装置
(AVAS)



排出ガス発散防止装置



国土交通省



独立行政法人
自動車技術総合機構



軽自動車検査協会

新しいクルマに、新しい車検がはじまります

クルマの電子装置の 故障をみつけます

OBD 検査
ポータルサイト



令和6年10月より、車検に「電子装置の検査」(OBD 検査)が追加されます

OBD 検査は、法令により
義務付けられています

OBD 検査や故障が見つ
かった場合の修理には費
用がかかります

OBD 検査・OBD 確認は
検査場または国の指定・
認証を受けた整備工場で



◀ OBD 検査の対象となる車は車検証の備考欄に
「OBD 検査対象」と記載があります

※OBD 検査の対象となる車：令和3年10月(輸入車は令和4年10月)以降の
フルモデルチェンジ車

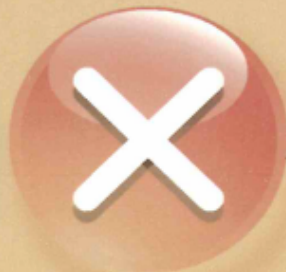
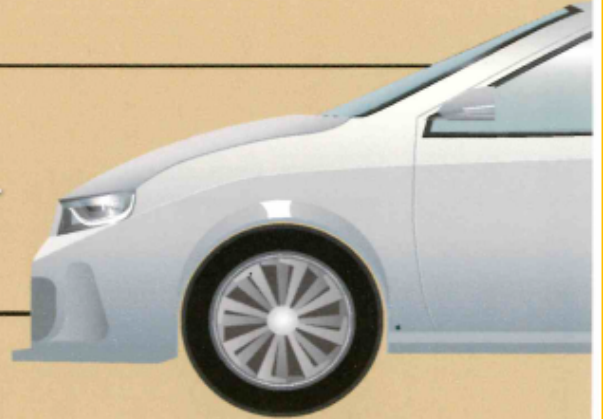
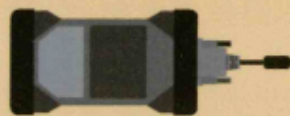


国土交通省

? 『OBD 検査』についてよくある質問

☑ OBD 検査ってどうやるの？

自動車のコンピューター（OBD）に特別な診断機（検査用スキャンツール）を接続して電子装置の故障の有無を確認します



☑ 電子装置の故障が見つかった場合 車検に通らないのですか

修理しなければ車検に通りません

☑ OBD 検査や故障の修理には 費用がかかりますか

費用がかかります
料金は車検を受ける整備工場に
ご確認ください

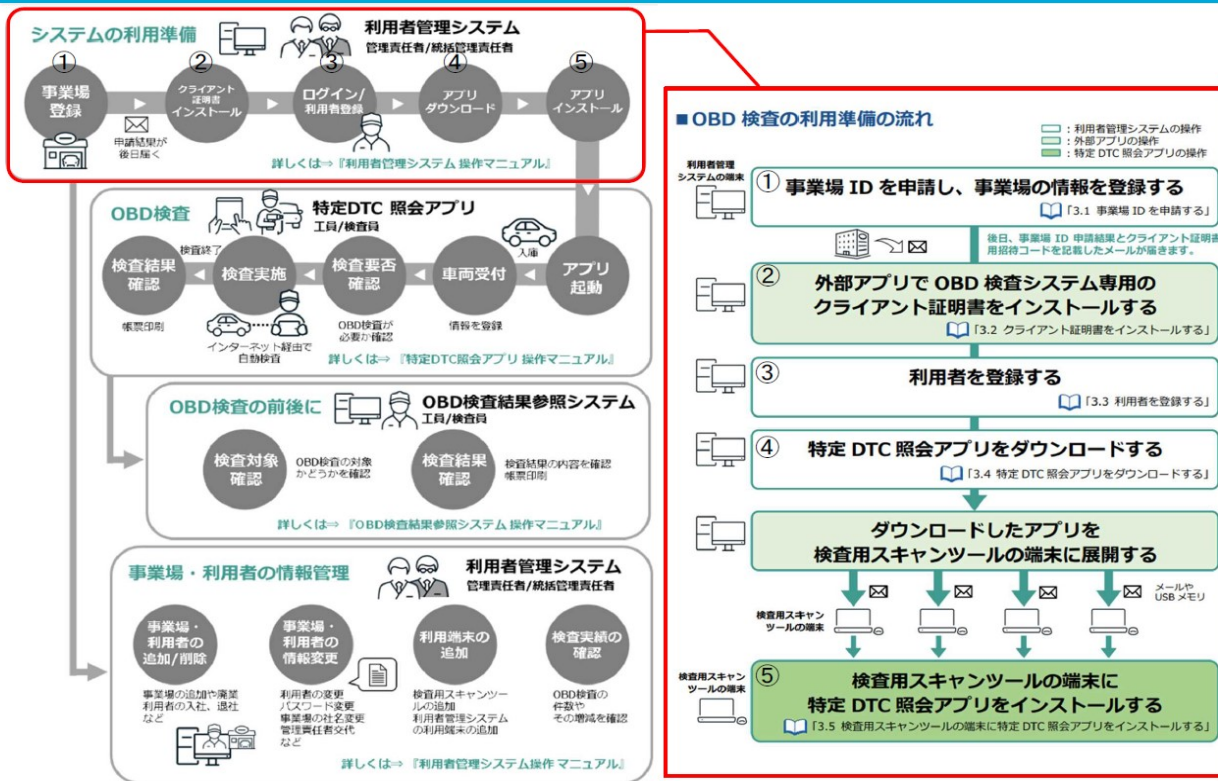


※差し込み口は運転席の右下または
左下などにあります



診断機の差し込み口

診断機の差し込み口に他の装置が
つながっている車は検査できません
車検前にとりはずしてください



指標	できること	準備するもの
1. 事業場登録	<ul style="list-style-type: none"> 事業場情報の登録 (OBD検査システムを利用するには事業場ID登録が必須です) ※OBD検査に向けた必要な準備ができていないか把握することができます。 	<ul style="list-style-type: none"> PC、タブレット (Window10以上) インターネット環境 メールアドレス 事業場ID登録の申請
2. 初回ログイン (利用者登録)	<ul style="list-style-type: none"> 利用者管理システムの起動 利用者の登録 (工員や検査員などのシステムの利用者登録) ※クライアント証明書が適切に発行されインストールできるか把握することができます。 	<ul style="list-style-type: none"> クライアント証明書のインストール 初期パスワード変更
3. 初回アプリ使用	<ul style="list-style-type: none"> アプリの起動 車両の受付 OBD検査の要否確認 ※アプリのインストール及びOBD検査を行う操作ができるか把握することができます。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定DTC照会アプリのインストール
4. OBD検査プレ	<ul style="list-style-type: none"> OBD検査の試行・習熟 ※スキャンツールの通信状況などOBD検査全般の問題点など把握することができます。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査用スキャンツール 車両 (J-OBD II 以降)

■ 最新情報はこちらで

OBD検査ポータルサイト：



OBD検査準備会合：



■ お困りの時はこちらへ

OBD検査コールセンター： 0570-022-574

街頭検査の実施結果について

定期点検整備の促進と不正改造車排除を図るため、標記街頭検査が実施されました。
街頭検査の結果は、以下のとおりです。

日時	実施場所	参加者	摘要
7月3日（水） 13：30～15：30	蕪崎市 国道20号 栄チェーン着脱場	運輸支局 5名 自動車技術総合機構 1名 警察 2名 蕪崎支部 5名 振興会 2名	総検査車両数 7台 不良車両数 2台 整備命令 0台 口頭警告 2台 車検切れ 0台

主な不適合箇所 車枠・車体

可搬式ナンバー自動読取装置の読取件数 1070件（捕捉件数、指導件数ともに0件）

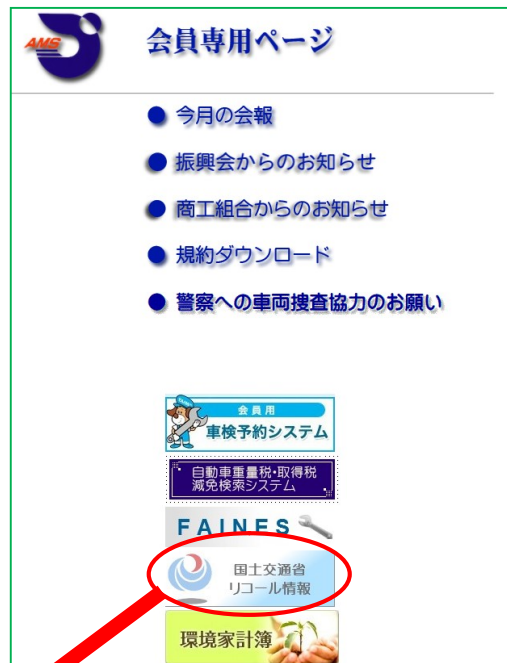
*** 蕪崎支部の皆様、
ご協力ありがとうございました。**

リコール検索システムをご利用ください

整備事業者がリコール情報を確認する方法として、各自動車メーカーのホームページにアクセスし、車台番号等を入力することにより行っていますが、車両により異なるホームページにアクセスしなければならないなど煩雑であることから、国土交通省並びに日本自動車整備振興会連合会（日整連）ではリコール検索システムを展開しております。

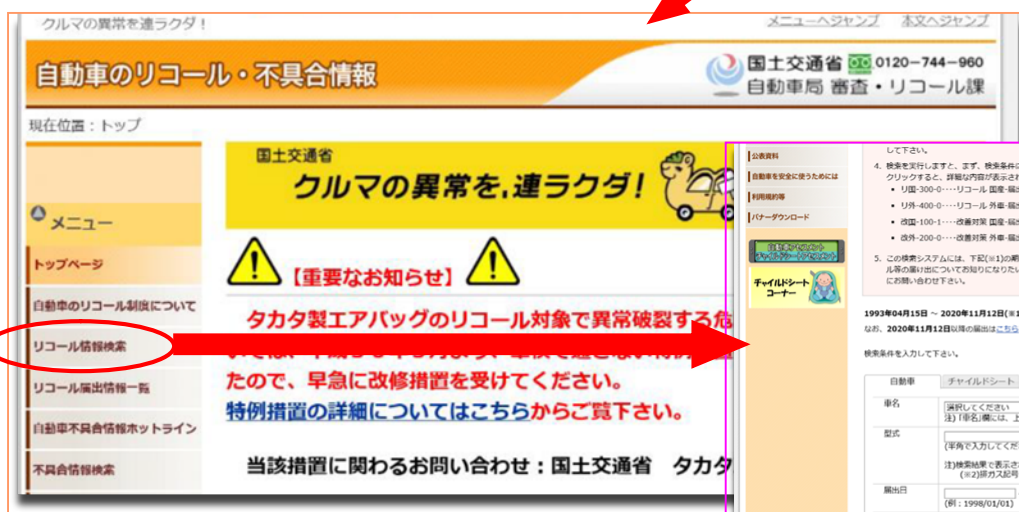
入庫車両のリコール状況を確認する手段として標記検索システムのご利用をお勧めします。

リコール検索システム（国土交通省）（振興会ホームページからリンク）



①振興会ホームページ会員ページへ
（ユーザー名 **ams** パスワード **amskaiin**）

②「国土交通省リコール情報」
ボタンをクリック



③「リコール情報検索」ボタンをクリックし、
検索画面で車名、型式、届出日等を入力し
「検索」ボタンをクリック





①日整連ホームページ下段へ

②「リコール情報検索」ボタンをクリック

③メーカーを選択し、車台番号全桁を半角大文字で入力し、「検索する」ボタンをクリック

The image shows the '車両リコール状況確認' (Vehicle Recall Status Confirmation) form. The form has a title '車両リコール状況確認' and a subtitle 'メーカーを選択し 車台番号を入力してください' (Select manufacturer and enter chassis number). It includes a 'メーカー' (Manufacturer) dropdown menu, a '車台番号 (半角大文字で入力してください)' (Chassis number (Please enter in half-width uppercase letters)) input field with an example '例) ABC-1234567890', and a red '検索する' (Search) button.